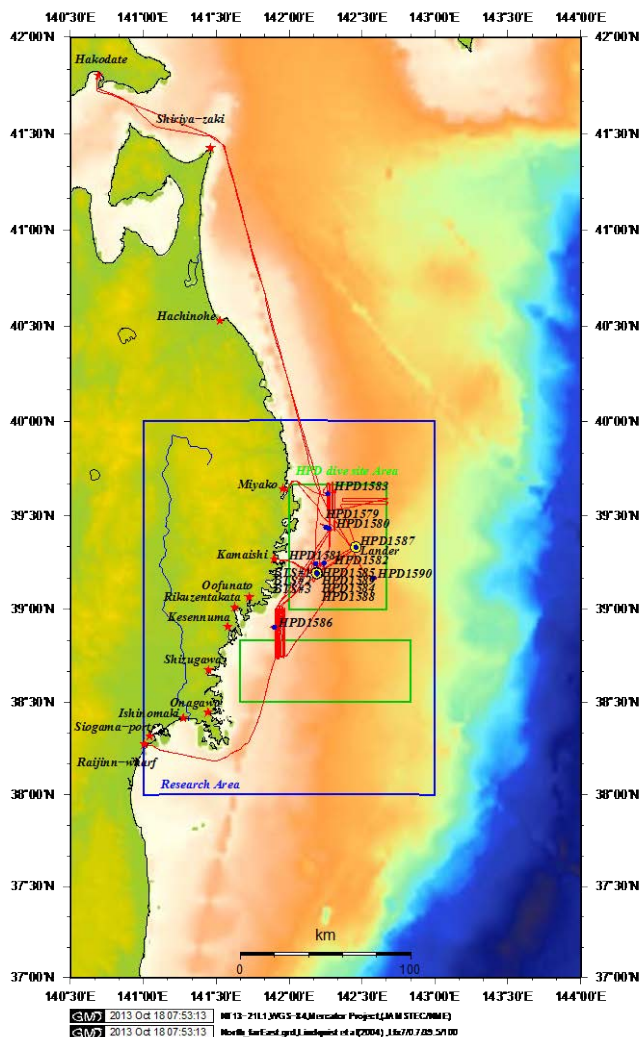


クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号：NT13-21 LEG1
- 船舶名：「なつしま」／「ハイパードルフィン 3000」
- 航海名称：東北津波域における海洋生態系の変動メカニズムの解明
- 首席研究者〔所属機関〕：藤原義弘〔海洋研究開発機構〕
- 課題代表研究者〔所属機関〕：藤原義弘〔海洋研究開発機構〕
- 研究課題名：東北津波域における海洋生態系の変動メカニズムの解明
- 航海期間：2013 年 10 月 6 日(日)~2013 年 10 月 19 日(日)
- 出港地~寄港地~帰港地の情報：塩釜（宮城） → 塩釜（宮城）
- 調査海域名：三陸沖
- 調査マップ

NT13-21Leg1 Cruise track



2. 実施内容

東北マリンサイエンス拠点形成事業の一環として、2013 年 10 月 6 日から 10 月 19 日にかけて無人探査機「ハイパードルフィン」を用いた潜航調査を実施した(HD#1579-1590)。その結果、1000m 以浅の平坦部では瓦礫の密度は小さく、海底谷では瓦礫が依然として多いこと、水深 1000m 以深では海底谷内でも瓦礫が少ないこと、全域にわたってキチジやマダラ、ズワイガニなどの水産生物が分布することを明らかにした。また潜航調査では 3D カラーマッピング技術を用いて瓦礫周辺の 3D 情報を取得した。さらにバイオトラッキングシステム基準局を 3 台海底に設置し、ピンガーと取り付けたズワイガニを近傍に放流してその行動に関する情報を取得したほか、2012 年 8 月 14 日に水深 998m に海底設置したランダーシステムを回収した。